

2022年6月24日

報道機関 各位

RECNA 見解文 「核兵器禁止条約(TPNW)第1回締約国会議を終えて」 の公開について

長崎大学核兵器廃絶研究センター (RECNA) は、時宜に合ったテーマで、見解文(「レクナの目」)を公表してまいりました。

ロシアのウクライナ軍事侵攻による核リスク増大や核軍縮後退への懸念が高まる中、2022年6月21日～23日にウィーンにて核兵器禁止条約第1回締約国会議が開催され、23日には「核兵器のない世界へのコミットメントに関する宣言」と「ウィーン行動計画」を合意文書として採択し、無事終了しました。またその前日には日本政府も参加した「核兵器の人道性に関する国際会議」も開催され、多くの被爆者や市民団体も参加しました。これらを受け、RECNA としての見解をまとめ、広く発信することといたしました。

本日、16時30分に以下の通り RECNA のウェブサイトで公開いたしましたので、是非ご覧ください。また、個別に取材をご希望の方は下記問い合わせ先までご連絡ください。

記

長崎大学核兵器廃絶研究センター (RECNA) ウェブサイト内にて掲載
<https://www.recna.nagasaki-u.ac.jp/recna/topics/40987>

【本リリースに関するお問い合わせ先】 長崎大学核兵器廃絶研究センター 総務係
TEL 095-819-2164 E-mail recna_staff@ml.nagasaki-u.ac.jp